

富原工業団地の売却について

現時点ではベストの価格だと判断している



名取 武一 議員

質問：土地開発公社富原工業団地について、購入時の坪単価はいくらだったか。当時の実勢価格と乖離していなかったか。

答弁：実際の購入価格は坪5万5千円、当時の周辺の取引価格を参考にしているので乖離はしていません。

販売価格も同じ坪5万5千円です。しかし、土地の整備やその間積み重なった利子で、2億円の損失となります。

質問：工業団地開発の内容は。販売が遅れた理由は何か。

答弁：町の活性化を目指し工業が成り立ちやすいという立地条件から富原を選択しました。平成2年の計画から約20年が経過しましたが、いい条件での交渉を進めているうちに経済情勢が変化し土地価格が低下しました。現時点ではベストの価格であると判断しました。

質問：内容を町民にわかりやすく公表すべきではないか。

答弁：従来ですと来年度の7月広報に掲載する予定ですが、迅速な情報公開を重視し、10月にホームページまたは広報お知らせ版で詳細を公表する予定です。

□その他の質問

*老人医療費無料化

について

*福祉・子育て支援

について



工場建設が進む富原の売却地

町長を志した理由と公約を含む今後の町政運営は

“変革”という

新しい風を吹かせたい



中山 孝 議員

質問：町長を志した理由、覚悟、理念、そして新しい風とは。

答弁：町政の課題の多さをホームページで知り、大好きな富士見町に骨を埋める覚悟で町長選にチャレンジしました。家は御射山神戸に新築を考えています。新しい風とは変革です。

質問：継続事業と変革する課題は。

答弁：自然と文化を守る事業は継続強化、インフラ整備と安全度の高い財政運営と協働の町づくりは継続。課題はパノラマ問題、大企業の急激な歳入減を解決したい。

質問：公約の優先順位と財源は。

答弁：6項目の公約実現は基本的に借金を増やさないこと。公約に対し財政的裏付け、効果を検討しています。時期は別としても実現の見通しが出てきているので、今後は皆さんの考えを徹底的にお聴きし、自分の考えに磨きをかけていきたいと思っています。

□その他の質問

*ふるさと納税制度について